

質問者



藤岡 緑 議員

Q

「マイ保育園」登録制度の導入の考えは

A

必要性は低いと考えます

問

この制度は妊娠時から三歳未満の子どもを育てている保護者が、近くの保育所を「マイ保育園」として登録すると育児相談や体験保育などのサービスが受けられるものだ。

核家族化傾向の強い昨今、妊娠出産や育児に関する子育て家族の不安を解消する事業として既に今治市などが実施しているが、当町としての考えは。

答

高橋福祉課長

保育所を身近な子育て支援の拠点として子育て中の家族にとって安心感を提供する事業といえますが、過疎地域など保育所利用のしにくい地域などに、より効果のある事業と認識しています。

当町の場合、子育て支援センターや保健センターも利用しやすく、サービスも充実しているのでこの制度を実施する必要性は低いと考えます。

問

病児、病後児保育の現状と今後は

共働き世帯にとって、働きながら安心して産み育てることはとても重要な。当町の行っている委託事業の病児、病後児保育の現状と今後は。

答

保育士を増やします

高橋福祉課長

松前町内の小児科医に伊予市、砥部町と共同で委託しています。今後利用者増加の傾向があるため来年度から保育士一人増員し、一度に保育できる人数を4から6人に拡充する予定です。

問

放課後子ども教室と放課後児童クラブについて

今年度から始まった放課後子ども教室は順調に稼働しているのか。放課後児童クラブとの整合性や連携についてはどうなのか。

答

連携を図っていきます

永見教育長

放課後子ども教室の実施については、左記のとおり
①岡田小 毎週木曜
②北伊予小 同金曜
③松前小 同金曜

問

地域文化財の保護・保存について

現状では、松前町の貴重な生活歴史資料となる民具や工具が学校や町所有の倉庫などに散在している。このままでは、紛失・磨耗・老朽化などで劣化が進んでいく。

今後の維持管理、保存一般公開等の運用についての考えは。

「まちづくり交付金」などの国の支援を利用した取り組みは。

答

文化財保護の意識高揚に努めます

永見教育長

以前公民館等で保管されていた325点は、健康増進センターの倉庫に保管して防霉剤処理をして種類別の台帳整理もしています。今後は機会をとらえ、公民館や文化センター等で一般公開し、文化財保護の意識高揚に努めていきます。

「まちづくり交付金」事業は、都市再生整備計画に基づいて実施するもので、文化財保護に直接的に利用できるものではありません。



働くパパとママの強い味方